

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成26年 7月22日更新

事務事業名		消防施設設置事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	総務部	課長名	中村誓丞
	施策	1	危機管理・防災対策の推進			所属課	総務課	担当者名	山隈和徳
	基本事業	1	災害の未然防止対策			所属班	交通防災班	(内線)	1215
予算科目		会計一般	款9	項1	目3	事業連番10010	法令根拠	消防法、合志市消防施設整備費補助金交付要綱 成果優先度評価結果：⑥ コスト削減優先度評価結果：⑨	
終了、開始年度		☐ 25年度で終了 ☐ 25年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	・市が整備する消防設備についての事務で、大別すると次の4つの項目になる。 ①開発行為に伴う、消防水利の協議及び開発に伴って設置した消防水利の検査事務 ②水道事業において設置する消火栓(基準水利)の打合せから設置、負担金支払い事務 ③小型動力ポンプ整備計画及び小型動力ポンプ積載車整備計画に基づく更新事務(概ね20年経過で更新) ④各行政区が設置した、消防施設についての補助金交付事務
【業務の流れ】	・開発業者の設置：業者への指示、検査 ・積載車：入札、納車検査、支払い ・小型ポンプ：入札、納入検査、支払い ・補助金の申請受付交付支払事務、実績報告に伴う確認検査
【主な予算費目】	・備品購入費、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	平成26年第1回定例会において、緊急車両の管理について一般質問があった。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動)25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO) ・水道新設工事に併せ消火栓を3基新設した。開発協議において防火水槽又は消火栓の設置の指導を行った。消防施設の整備を行なった行政区について、補助金を交付した。消防小型ポンプ積載車及び消防小型動力ポンプを2台購入した。		26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) ・水道事業に併せ消火栓を設置する。・開発協議において防火水槽または消火栓の設置の指導を行う。・消防施設の整備を行なった区について、補助金を交付する。・積載車の購入を見送り、小型ポンプを3台購入する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ア：防火水槽設置数	箇所	消防小型ポンプ積載車の購入減による
イ：消火栓設置数	箇所	
②対象(誰、何を対象にしているのか)＊人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
・消防施設(消防水利、小型ポンプ、積載車、消防施設)		→ア：消防水利数
		→イ：
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
・未整備地区に設置する。		→ア：前年度より増加した消防水利数
		→イ：
＊③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
・消防水利数の増加により、火災時の消火活動が早まる。		全体計画
		～ 年度
		0

(2)各指標・総事業費 の推移			単位	23年度 実績(決算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	27年度 予定	28年度 見込	29年度 見込
① 活動指標	ア	箇所		5	1	1	6	1	1	1	1
	イ	箇所		5	7	1	8	1	1	1	1
② 対象指標	ア	箇所		809	814	816	825	832	839	846	853
	イ										
③ 成果指標	ア	箇所		7	5	7	11	7	7	7	7
	イ										
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	18,880	17,993	17,784	17,217	13,151	15,000	15,000	15,000
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	18,880	17,993	17,784	17,217	13,151	15,000	15,000	15,000
		(A)のうち指定経費	千円	3,988	4,902	4,000	3,860	4,000	4,000	4,000	4,000
		(A)のうち時間外・特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	4	3	4	4	4	4	4	4
		延べ業務時間	時間	180	250	180	210	180	180	180	180
		(B)人件費計	千円	726	1,017	732	836	732	732	732	732
	トータルコスト(A)+(B)			千円	19,606	19,010	18,516	18,053	13,883	15,732	15,732

事務事業名	消防施設設置事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	----------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（SEE）

*原則は25年度的事後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 ・市が設置する水利(40t 防火水槽)1基、水道新設工事に伴う消火栓3基、開発に伴う水利(40t 防火水槽又は消火栓φ75)3基、計7基を予定しており達成の見込みあり。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 ・防災計画書にある「消防施設強化促進計画」に基づき進めており、消防水利の未整備地区に、計画的に水利を設置していくことで、向上の余地がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ・類似事業はない
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 ・消防水利については、計画に基づき事業を進めており、削減の余地はない。 ・消防積載車及び小型ポンプについても、計画的に更新しており削減の余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 ・整備については知識を必要とするため委託等はできないので削減余地はない
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 ・消防水利は市全域にわたり、法に基づき未整備地区を整備していくもので、公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 消防施設の設置・管理を行う事は市の責務であり適正である。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

計画内容どおり事業を行うことができた。

主な実績

- ①消防積載車更新2台(第2分団日向班、第13分団堀川班)、小型ポンプ更新2台(第1分団上古閑班、第2分団横町班)
- ②水道新設工事に伴う消火栓設置3基
- ③開発行為に伴う水利増加数(防火水槽6基、消火栓5基)
- ④平成25年度に老朽化等により撤去した防火水槽3基

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☒事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） ・消防水利台帳は現在紙ベース（台帳）のため、閲覧や更新、保存等管理面で非効率なので、平成26年度において消防水利台帳を電算システム化するように計画している。 ・平成26年度は積載車の更新は行わず、老朽化が激しい小型ポンプを通常の2台から3台に増加し更新する。		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持	○																					
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 予算が確保できれば特に問題はない																							